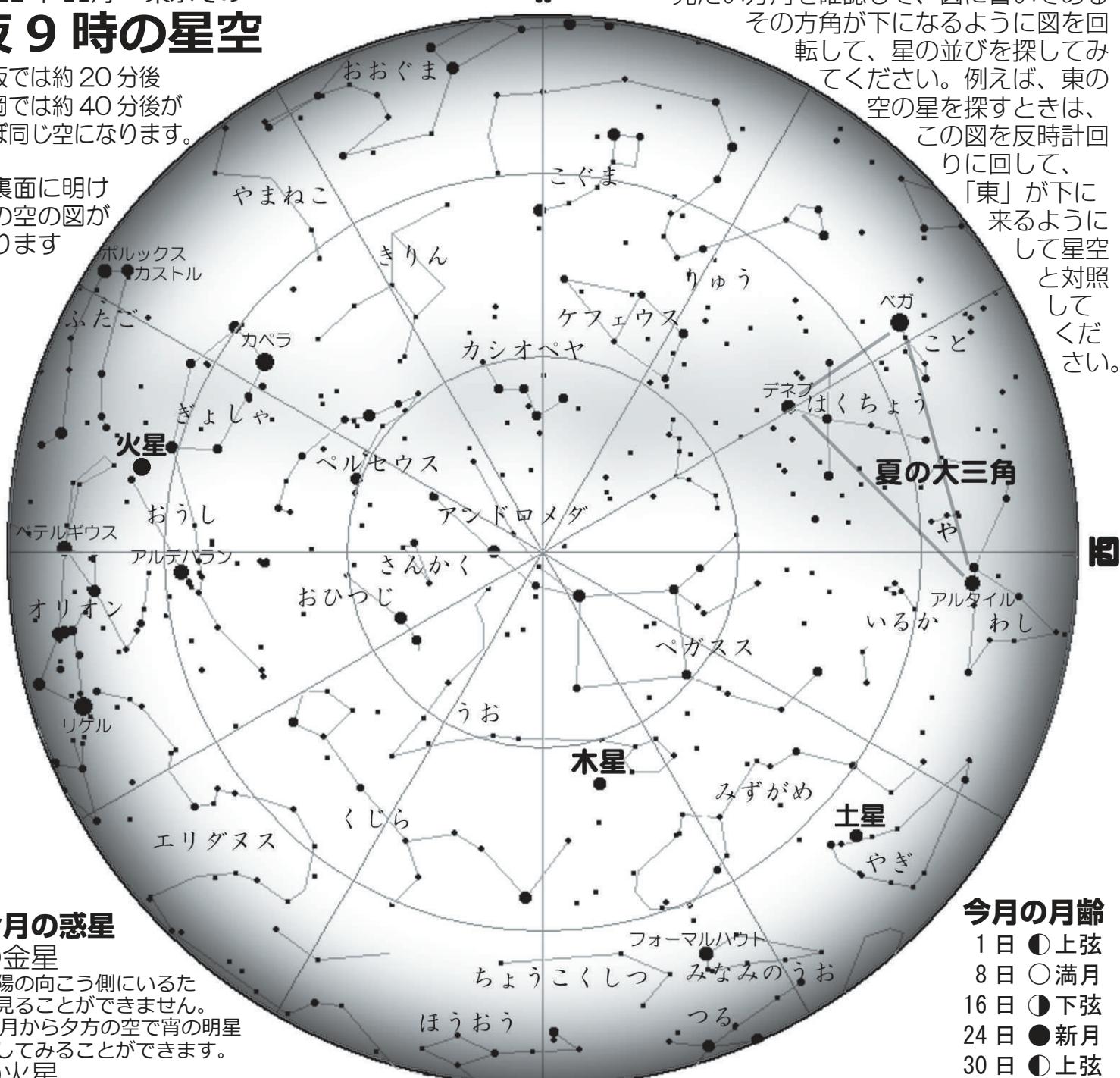


2022年11月 東京での夜9時の星空

大阪では約20分後
福岡では約40分後が
ほぼ同じ空になります。

※裏面に明け
方の空の図が
あります



今月の惑星

●金星

太陽の向こう側にいるため見ることができません。12月から夕方の空で宵の明星としてみることができます。

●火星

夜7時ごろに東の空から昇ってきて、明け方2時ごろに南の空で空高く輝いています。12月1日に地球に最接近します。

●木星

宵の南の空に見えています。今が最も見やすい時期です。

●土星

宵の南東の空に見えています。だんだんと西の空に低くなってくるので、なるべく早い時間帯に見るとよいでしょう。

今月の月齢

1日	●上弦
8日	○満月
16日	●下弦
24日	●新月
30日	●上弦

南

はじめての星空には まず双眼鏡

スターゲイズオリジナル
FH-842K7C
¥9,900(税込)

軽量コンパクトな完全防水双眼鏡。はじめての星空観察に、見たいところに向けて新しい発見を楽しめます。小型で軽量なので、女性やお子様にもおすすめします。



是非当社Webをご参照ください。
商品の情報以外にも、
毎月の星空の案内や天文現象・その他天文や
星に関するいろいろな情報を紹介しています。



天体望遠鏡専門店 (有)スターゲイズ
〒350-1213 埼玉県日高市高萩 1567-48
TEL : 042-978-5965 FAX : 042-978-5984
HomePage : <http://www.stargaze.co.jp/>
Email : info@stargaze.co.jp

2022年11月 東京での

未明3時の星空

大阪では約20分後

福岡では約40分後が

ほぼ同じ空になります。

※裏面に宵の

空の図があります

北

見たい方角を確認して、図に書いてある
その方角が下になるように図を回
転して、星の並びを探してみ
てください。例えば、東の
空の星を探すときは、
この図を反時計回
りに回して、
「東」が下に
来るように
して星空
と対照
して
くだ
さい。

地図

図

南

●11月8日(火) 皆既月食 & 天王星食

11月8日(火)の夜、2021年11月19日以来約1年ぶりとなる月食が見られます。日本では、西日本の一帯で半影食の前半が見られませんが、ほぼ全国で全過程を見ることができます。

月食は必ず満月の日に起こりますが、満月の日には、太陽が西の空に沈むのとほぼおなじころに東の空から月が昇ります。今回の月食は、日本では夕方月が東の水平線からあがってきてしばらくしてからはじまりますから、なるべく東の空が開けた場所で観察するとよいでしょう。月食の後半は空の高いところで見られますから、建物の多い街中でも見ることができるかもしれません。

今回の月食では、月の一部が暗くなっている半影食の様子がわかるようになるのは、17:30ごろからになります。本影食に入る18:00すぎになると、月が地球の影に入ったことがはっきりとわかります。時間とともに月は地球の影に入り込んで行き、19:16には地球の影の中に月がすっぽりと入り込みます。しかし、この状態でも月は赤く鈍く光って見えます。これは、地球の周りを取り巻いている大気が太陽の光を屈折することにより、赤い光だけが月に届いている状態です。

今回の月食の大きな特徴として、地球の影の深くを月が通過していくため、皆既食の時間が1時間26分と長いことが挙げられます。また、皆既食中の月の明るさも、前回の月食と比較すると暗くなることが予想されます。皆既食が終わる20:42を過ぎると、月は地球の影の中から姿を現し、少しづつ満月へと戻っていきます。22:30ごろには、ほぼ元の満月に見えるでしょう。

もう一点、今回の月食の最中に、月がその向こう側にある天王星を隠す現象が同時に起こります。天王星は見つけにくい対象の一つですが、天体望遠鏡を使うと、他の恒星とは明らかに違う輝きと色をしていることがわかります。是非この機会に天王星にも注目してみてください。

下写真：

2018年1月31日の皆既月食

